

就職・進路相談室だより

第 4 号 令和元年7月1日発行
茨城大学 全学教職センター
就職進路相談室 029-228-8654



< 7 月の予定 >

・・・演習計画

日	月	火	水	木	金	土
	1 討論1 (石島) A棟 223室 ★中高・特支	2 面接1 (菊池) A棟 模擬授業室	3 教採講座1・2	4	5 場面模擬1 (益子) A棟 模擬授業室	6
7	8 場面模擬2 (石島) A棟 模擬授業室	9 討論2 (萩谷) A棟 模擬授業室 ◎全校種(フリ)	10 教採講座1・2	11	12 討論3 (益子) A棟 模擬授業室 ☆小・養	13
14	15 海の日 	16 討論4 (菊池) A棟 模擬授業室 ◎全校種(フリ)	17 教採講座1・2 相談室打合せ	18	19 面接2 (益子) A棟 模擬授業室	20
21	22 面接3 (石島) A棟 223室	23 討論5 (菊池) A棟 模擬授業室 ☆小・養	24 教採講座1・2	25 討論6 (午前) A棟 模擬授業室 ◎全校種(フリ) (石島)	26 討論7 (益子) A棟 模擬授業室 ★中高・特支	27
28	29 場面模擬3 (菊池) A棟 223室	30 討論8 (萩谷) A棟 模擬授業室 ◎全校種(フリ)	31 教採講座1・2			

※ 7月の相談室の予約については、二次試験の個人面接に備えるとともに多くの学生のみなさんとの個々の面談を重視するために、小グループをなくし、個人の面談のみになります。

教採講座1… 東小川昌夫 先生「教職に就くための準備その2」…一次試験模試2/二次試験合格作戦1～4
教採講座2… 菊地 利幸 先生「学校と教育法規等について」…法規演習/教養演習/面接演習/論文文演習

< 7月22日(月)から、相談員の先生が増員されます！ >

相談室では、教員採用試験を受験する多くの学生・院生の皆さんへの相談体制を充実させるために、7月22日(月)から8月23日(金)の期間、4人の相談員(小堀常雄先生・高林仙次先生・箱田洋三先生・島田れい子先生)の増員を予定しています。通常の相談(月一人3回まで)にプラスして、経験豊富な先生方の指導や助言を得る相談室利用の計画を積極的に立てて、二次試験に備えてください。

4人の先生方からは、主に④「自己PRの書き方・話し方」、⑤「個人面接の技法」、⑧「論作文の書き方」を中心に⑥⑦⑨⑩等について指導・助言をいただいでください。総勢8人の相談室スタッフで皆さんの相談に当たり、皆さんが教員採用試験を突破できるよう、最大限の支援をしていきます。予約開始日や予約方法については、「[全学教職センターホームページ](#)」で確認してください。

～相談室 個別相談の内容～

- ① 就職・進路選択に関する情報提供と支援
- ② 公立・私立学校教員、講師(常勤・非常勤)採用に関する支援
- ③ 志願書類、履歴書等の書き方に関する支援
- ④ 自己アピール、自己PRの書き方に関する支援
- ⑤ 個人面接の技法に関する支援
- ⑥ 集団面接の技法に関する支援
- ⑦ 集団討論の技法に関する支援
- ⑧ 論作文の書き方に関する支援
- ⑨ 模擬授業に関する支援
- ⑩ 場面指導(ロールプレイング)に関する支援
- ⑪ 教職教養全般に関する支援
- ⑫ 大学院への進学に関する情報提供と支援
- ⑬ その他(悩み、問題、対策等について)

< 教員採用試験の状況把握について

…お願い>

6月末(6/28締切)の受験先及び受験校種の調査へのご協力、有り難うございました。本年度も、引き続き、各選修等の学生連絡係(代表)の方を通して、一次の結果の調査(8月初旬を予定)及び二次の結果の調査(9月中旬を予定)を実施します。ご協力ください。

<3周の意味するもの>

7月、いよいよ2020年度採用・公立学校教員採用試験のスタートです。(北海道など既にスタートを切った自治体もありますが…)受験に当たっては、健康に十分留意して、良いコンディションのもとで全力で試験に臨めるようにすることはもちろん、その当日まで足掻くことも大事かも知れません。

* * *

先日、一大決心をして、20年以上ほったらかしにしていた庭の芝生の張り替えを実施しました。張り替えるまでの目標は、庭の地面を3回掘り返すこと。

1回目(1周目)…少し焦りました。掘り返すために差し込もうとしたスコップが地面の固さに負けて入っていきません。足をかけて何とかかんとかスコップを差し入れ、庭全体の根っこだらけの地面を掘り返し、根っこと根っこにへばり付いた土の選り分けが完了するまでに、6時間×3日…18時間。

2回目(2周目)…あんなに差し込めなかったスコップが、思ったより容易く地面に食い込みます。しかし、所々で前回掘り返せていなかった所にぶつかり、そこではまた、掘り進むのに難渋することになります。それでも、全面を掘り返すまでには、3時間×2日…6時間と、時間の短縮には何とか成功。

3回目(3周目)…少し萎えかけた気持ちの中、見え隠れする根っこの残りや土の塊が気になって3回目の掘り返しの実施。すると…、サクサクッと地面に入るスコップの感触に、少し驚くと共に感動。全面を掘り返すのも、相談室の仕事に出かける前の朝30分×3日…何と、90分で完了。

* * *

人生をかけた採用試験と庭仕事を一緒にするな…と言われそうですが、筆記の勉強「3周しました/5周しました」など、先輩の報告がある中で、せめて「3周の手ごたえ」を感じてもらえたら…と、つつい書いてしまいました。試験日が目前に迫る中ですが、最後まで足掻いて、教職教養・一般教養・専門科目など、各自治体(都道府県・市町村)の試験内容に即して、最後の点検と整理をしてください。教授講座で配布された資料をもう一度復習したり、整理したりするのも良いかも知れません。「そこが出た!」何てことも、起こり得ることです。

また、試験当日に持参する書類や持ち物については、事前に十分確認しておくとともに、忘れ物がないよう細心の注意を払ってください。さらに、当日は受付時間に遅れないよう余裕をもって会場へ行きましょう。まずは、受験者全員の第一次試験の合格を祈ります。頑張ってください。

◎試験直前・当日の留意点◎20箇条

- ① 受験する都道府県教育委員会(自治体)の資料(求める教師像・重要施策・試験項目に関する評価の観点・基準等々)をチェックする。
- ② 試験勉強は、当日朝まで行う。
※直前に学習したことが出題されることがしばしばあります。
- ③ 「うちわ、扇子、保冷剤」等を試験会場に持参する。
- ④ 靴を磨いて、試験会場に臨む。(冷房の効いた会場も増えてきましたが…)
- ⑤ 頭の前からつま先までの身だしなみのチェックを欠かさない。
- ⑥ 数学の試験には、常に「コンパス」「分度器」「定規」等は持参する。
- ⑦ 必ず持ち物をチェックする。
- ⑧ 当日の朝は早めに起き、会場へは1時間前位に到着するようにする。
※会場の雰囲気慣れることが大切です。
- ⑨ 試験会場までの交通手段は、公共交通機関(電車・バス等)、タクシーを使う。
自分や家族の自家用車では絶対に行かない。
※チェックを入れている都道府県(自治体)もあります。
※渋滞や事故に遭遇する恐れがあります。
- ⑩ 隣の受験者をライバルと思わない。(同じ目的や志をもつ仲間という意識で)
- ⑪ 面接では、自分の伝えたいことを自分の言葉で伝える。
- ⑫ 面接では、自信をもって話をする。はっきりとした声で話す。
- ⑬ 面接では、明るく、元気で、さわやかに話をする。
- ⑭ 「少し未熟で、これからがんばる!」という『謙虚』な姿勢も面接官に見せる。
- ⑮ 面接は、『攻めの質問』と『守りの質問』に分けて考える。
- ⑯ ある教科で失敗しても、すぐに気持ちを切り替えて、全問解くように努力する。
- ⑰ 大学入試センター試験のように、できる問題から解いていくのも効率的な作戦である。
- ⑱ 鉛筆を5本以上持参する。消しゴムは下に落としても拾わなくていいように、3個以上持って行く。
- ⑲ 論作文の試験で、濃く見やすい文字を書くためにBや2Bを使う。
- ⑳ 携帯電話のスイッチを切って会場に入り、かばんに入れておく。
※以前に、着信音が鳴ってしまい注意を受けた受験者がいました。

